

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		池之端児童館大規模改修					所管	教育委員会 庶務課	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	242	計画事業名	区有施設の老朽化対策			事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標] IV-2. 行政経営の推進 [小 柱] [施 策]					[事業開始]		
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区立児童館条例			[終了予定]	平成 29 年度	
	事業対象	直接的な対象:池之端児童館 最終的な対象:池之端児童館利用者							
	事業目的	老朽化の進む建築・設備等の更新を行うことにより、利用者の安全確保と育成の質の向上を図る。							
	事業内容	電気・空調・給排水等の基幹設備の更新を図るとともに、児童等利用者の安全と質的な環境向上のため、大規模改修工事を実施する。 平成28年度 実施設計 平成29年度 改修工事 平成30年3月 工事完了							
	委託の有無	全部委託	委託内容	設計業務					
	補助金の有無	都							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度		
	活動指標	設計・工事(改修工事面積) ※こどもクラブを含む	m ²	580	-	-	設計		
	成果指標	工事進捗率	%	100	-	-	0		
	決算額	(単位:千円)			-	-	4,356		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			-	-	1,783		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			-	-	4,356		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			-	-	0		
		総経費			-	-	6,139		
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			-	-	0			
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			-	-	2,178			
	一般財源(区負担額)			-	-	3,961			
前回評価から改善した事項	なし								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	池之端児童館は建築後38年以上が経過し、建物・設備の老朽化が進行している。そのため、区の責務として計画的に大規模改修を実施し、施設環境を改善していく必要がある。						
	効率性	3	工事実施にあたっては、施設の劣化具合、安全性や緊急性を重視しながら経費節減に努めている。						
	手段の適切性	4	経年劣化した内外装の改修、電気・給排水等の基幹設備の更新を総合的に勘案した設計が、専門的な視点から適切に提案されている。						
	目的達成度	4	計画通りに実施設計は完了している。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大改善 維持 縮小 廃止・終了	
騒音や粉じん対策等、周囲の環境に最大限配慮しながら、計画どおり工事を進める必要がある。							維持		